



震災後、アフリカ諸国で唯一大統領が来日

駐日トーゴ共和国大使館が開設してから、まだ一年ほど。だが、東日本大震災後、同国大統領は即座に来日し、被災者支援を表明する等、非常に親日的な国家である

二〇〇七年から援助再開

ムルアカ(以下、M) 二〇一〇年十月に、駐日トーゴ共和国大使館が完成して、一年が経ちましたね。

ボジョナ(以下、B) はい。日本とのパートナーシップを、より緊密化させるため、大使館を通して国家間、国民同士の関係をさらに深めていきたいと思っています。

二〇一一年三月十一日の東日本大震災に対して、トーゴ国民の心は深い悲しみに打ちひしがれました。トーゴでは、大震災を辛抱強く、勇敢に乗り越えた日本人に対して、尊敬の念を表した報道が多かったです。また、ニヤシンベ・トーゴ共和国大統領は、震災後に一番最初に来日した大統領であり、現時点ではアフリカ諸国で唯一、来日した大統領です。ニヤシンベ大統領は、震災から三カ月後に

東北地方を訪問し、被災者たちに実際に会い、支援を表明しました。

M 日本からのトーゴへの、政府開発援助(ODA)の現状はどうなっていますか？

B トーゴと日本の関係は、いくつかの段階を経してきました。まず、一九六〇年に外交関係が結ばれ、九三年まで続きました。九三年から、トーゴ国内の政治の混乱から、国際協力の断絶という第二段階に入りました。そして、第三段階である二〇〇七年からは、国際協力が再開されました。日本からのODAも同様の段階を経できました。

日本のODAは様々な分野で行われていますが、主に農業、飲料水の供給、政府職員の研修、教育、保健問題等が挙げられます。なるべく早期にODAの額が、以前の数字まで戻るよう願っています。



トーゴ共和国臨時代理大使 スティーブ・アクレソ・ボジョナ

Steve Aklesso Bodjona / 1982年生まれ。2004年ロメ大学法学部学士課程修了、05年同修士課程修了、07年国立行政学院修了、10年大阪大学(日本)国際関係学科修了、日本語学院修了。08年10月トーゴ政務局研究員、外務・地域統合省事務次官補佐、09年5月外務研修(エジプト)、10年9月から現職。